



第 48 回日本医学放射線学会生物部会学術大会
第 39 回放射線による制癌シンポジウム
-基礎と臨床の対話-

プログラム



日時:平成 21 年 7 月 10 日(金)-11 日(土)
会場:富山国際会議場 (富山県富山市大手町 1-2)

日医放・生物部会大会長/制癌シンポジウム世話人

近藤 隆 (富山大学大学院医学薬学研究部放射線基礎医学講座)

副大会長 野村邦紀 (富山県立中央病院放射線治療部)

副大会長 松本英樹 (福井大学高エネルギー医学研究センター)

副大会長 宮内 勉 (医療法人財団 とやま医療健康センター

とやま PET 画像診断センター)

佐竹 清先生のご略歴

1928 (昭和 3年)	旧樺太 豊原市に生まれる
1947 (昭和22年)	富山県福光町に引き揚げ 旧制弘前高等学校中退
1948 (昭和23年)	富山師範学校特設研究科修了 福光町吉江小学校教諭
1951 (昭和26年)	棟方志功の版画講習会で受賞。以後富山版画会の仲間とともに指導を受け
1953 (昭和28年)	第6回高岡市展入選 以後受賞、審査員、現在まで出品 第2回日本版画院展 展雲賞
1954 (昭和29年)	第28回国展入選 この頃より版画家笹島喜平に指導を受ける
1959 (昭和34年)	玉川大学文学部教育科卒業 (通信課程)
1960 (昭和35年)	第1回日本版画会展 会友推挙
1961 (昭和36年)	日本版画会会員推挙 伏木中学教諭 以後主に中学校美術科教諭
1965 (昭和40年)	高岡市高志画廊で初個展
1966 (昭和41年)	第7回日本版画会展 奨励賞
1971 (昭和46年)	第6回個展 (高岡市立博物館)
1974 (昭和49年)	富山県展審査員 以後招待、会員出品
1982 (昭和57年)	日本版画会展審査員 以後も歴任し連続出品
1983 (昭和58年)	教職を退き、以後版画に専念
1984 (昭和59年)	犬養孝氏の万葉の世界に感動、万葉の歌によせる版画個展 (大和高岡店)
1985 (昭和60年)	第26回日本版画会展 会員賞
1991 (平成 3年)	自宅の庭に、古土蔵「万葉版画館」を開館
1995 (平成 7年)	高岡市社会教育功労者 表彰 越中野外音楽劇団代表
1997 (平成 9年)	高岡万葉まつり協賛 第14回万葉の歌によせる版画個展 (大和高岡店)
1998 (平成10年)	古希記念「佐竹清版画」発刊
2002 (平成14年)	高岡市民功労者 (芸術文化) 表彰
2003 (平成15年)	高岡市万葉歴史館 秋の特別企画「佐竹清越中万葉を掘る」
2005 (平成17年)	喜寿記念版画展 富山県高岡文化ホール
2008 (平成20年)	傘寿記念版画展 富山県高岡文化ホール

(表紙の版画は先生の「渋谿の崎(雨晴)」1997(平成 9)の作品です)

第 48 回日本医学放射線学会生物部会学術大会

平成21年7月10日(金)

8: 50-9: 00

部会長挨拶

9: 00-10: 10

セッション1 一般講演(優秀賞対象発表)

座長 村山千恵子(東海大学)、松本英樹(福井大学)

1. 強定常磁場による筋芽細胞の配向と分化への影響
菊池一貴 (弘前大学・院・保健学)
2. 重粒子線照射ヒト造血幹・前駆細胞からの初期造血における発現遺伝子の変化
門前 暁 (弘前大学・院・保健学)
3. 移植腫瘍の X 線と重粒子線に対する感受性の比較 -RBE と OER を中心に-
平山 亮 (放医研・重粒子セ・粒子線生物)
4. セラミドを介したアポトーシス誘導に関する放射線応答反応の解析
河村英将 (群馬大学・重粒子セ)
5. 腫瘍細胞の遊走能に対する分割照射の影響
吉田由香里 (群馬大学・重粒子セ)
6. 低線量重粒子線照射による ERK1/2 活性化
奥山圭介 (新潟大学・医・保健学)
7. マウス扁平上皮癌内のホウ素化合物の分布におけるガンマ線前照射の影響
劉 勇 (京都大学・原子炉・重粒子腫瘍セ)

10: 10-11: 20

セッション2 一般講演(優秀賞対象発表)

座長 松本義久(東京工業大学)、前澤 博(徳島大学)

1. 中心体異常を指標とした放射線の線量率効果
島田幹男 (京都大学・放生研・ゲノム動態)
2. 放射線による歯根形成阻害メカニズム～ヒト根未完成歯・根尖部歯髓由来細胞より単離した幹細胞様細胞の放射線生物学的検討～
阿部成宏 (東京医科歯科大学・院・歯学・口腔放射線腫瘍)
3. ヒト末梢血単球由来樹状細胞の分化誘導における放射線の影響
吉野浩教 (弘前大学・院・保健学)
4. 白血病細胞における laminin receptor の発現と epigallocatechin-3-gallate に対する感受性
羽澤勝治 (弘前大学・院・保健学)
5. より有効な放射線療法を目指した臨床的放射線耐性細胞の樹立とその解析
桑原義和 (東北大学・加齢研・病態臓器構築)
6. 突然変異誘発における DNA 損傷の空間的配置の重要性
野口実穂 (日本原子力研究開発機構・先端基礎研セ)
7. 細胞の増殖状態による DNA2 重鎖切断修復酵素の発現と放射線感受性
竹原和宏 (東北大学・加齢研・病態臓器構築)

11: 20-11: 30

休憩

11: 30-12: 10

セッション3 一般講演(増感)

座長 柏倉幾郎(弘前大学)

1. ギメラシルによる放射線増感効果の分子メカニズムの解析
染谷正則(札幌医科大学・放射線)
2. 腫瘍細胞における金粒子含有ナノゲルを用いた放射線増感作用
武内 亮(北海道大学・院・獣医学)
3. トポイソメラーゼⅡ阻害剤 SN-38 による細胞の放射線増感効果
寺戸勅雄(滋賀医科大学・生化分生学)
4. アルキル化剤による DNA 損傷修復を標的とした脳腫瘍化学療法
近藤夏子(奈良県立医科大学・生物、脳外)

- 12: 10-13: 00 セッション4 一般講演(増感・感受性)
座長 渡邊正己(京都大学)
1. 放射線誘導アポトーシスのサナゾール増感の国際共同研究
鍵谷 勤(京都大学・名誉教授)
 2. ピリミジン系核酸誘導体のチャイニーズハムスターV79細胞に対する放射線増感効果
前澤 博(徳島大学・院・バイオサイエンス)
 3. 経口フッ化ピリミジン製剤UFTを用いた化学放射線療法における効果予測因子の探索的研究
村山千恵子(東海大学・医・基盤診療)
 4. ヒト腫瘍細胞における Benzyl isothiocyanate の放射線増感に関する研究
窪田宜夫(茨城県立医療大学・保健医療)
 5. 時間組込LQモデルを用いて前立腺癌に対する分割照射での線量効果関係のシミュレーション
関根 広(埼玉医科大学・国際セ・放射線腫瘍)
- 13: 00-14: 00 生物部会幹事会(特別会議室)
- 14: 00-14: 50 セッション5 一般講演(バイスタンダー効果)
座長 窪田宜夫(茨城県立医療大学)
1. X線スリット状マイクロビーム照射で誘導される致死効果に対するバイスタンダー効果の細胞種依存性
鈴木雅雄(放射線医学総合研究所・重粒子セ)
 2. 放射光単色軟X線照射による細胞致死効果とバイスタンダー応答の解析
富田雅典(電力中央研究所・原子力研・放射線安全セ)
 3. SPring-8放射光のスリット状照射による細胞への影響
菓子野元郎(京都大学・原子炉)
 4. 放射線誘発染色体不安定性の起源
渡邊正己(京都大学・原子炉・放射線生命)
 5. 粒子線低線量照射による適応応答の誘導
松本英樹(福井大学・医・高エネ医セ)
- 14: 50-15: 00 休憩
- 15: 00-16: 00 セッション6 一般講演(遺伝子発現等)
座長 中野隆史(群馬大学)
1. プロモーターシャッフリングを用いた放射線応答プロモーターの構築
鍵谷 豪(北里大学・医療衛生)
 2. 前立腺癌細胞株で放射線刺激に応答するプロモーターの構築
森井章裕(富山大学・院・医薬)
 3. X線による筋管形成阻害に対するIGFの作用
櫻井智徳(弘前大学・院・保健学)
 4. アザミグリーン1とジェミニンユビキチン化ドメイン融合タンパクを利用した放射線誘導性細胞周期関連事象の可視化
石川繭子(東京医科歯科大学・院・医歯)
 5. 異なる線量率によるマウス寿命に及ぼす影響の違い
野村崇治(電力中央研究所・原子力研・放射線安全セ)
 6. あらかじめの温熱前処理による放射線および温熱抵抗性の獲得
高橋昭久(奈良県立医科大学・生物)

第 39 回放射線による制癌シンポジウム

-基礎と臨床との対話-

「21世紀の放射線による先端医療と研究のさらなる発展を目指して」

平成21年7月11日(土)

8: 50-9: 00

世話人挨拶

9: 00-12: 00

シンポジウム1「IMRT・IGRT vs 粒子線治療 あなたならどちらを選びますか？」

座長 西村 恭昌(近畿大学)、古澤 佳也(放射線医学総合研究所)

1. 粒子線治療における物理的有用性
西尾禎治(国立がんセンター東病院)
2. 光子線と粒子線における生物効果
古澤佳也(放射線医学総合研究所)
3. 放射線感受性に応じた光子線と重粒子線の選択に関する生物学的検討
長谷川正俊(奈良県立医科大学)、浅川勇雄、玉本哲郎、岩田和朗、片山絵美子、新 雅子、大野達也、加藤真吾、村上健、中野隆史
4. IMRT vs 粒子線治療 IMRT
高井良尋(東北大学)
5. がんの放射線治療のなかでの陽子線治療の位置付け
櫻井英幸(筑波大学)
6. 臨床例における陽子線治療とX線治療との役割の違いについて
不破信和(南東北がん陽子線治療センター)、中村達也、供田卓也、高田彰憲、高山香名子、加藤貴弘
7. (指定発言)ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)
小野公二(京都大学)

13: 00-13: 30

生物部会総会

13: 30-16: 50

シンポジウム2「追い風の臨床放射線、向かい風の基礎放射線-クリーンベンチの風はベットサイドに届くのか?-トランスレーショナル研究」

座長 三浦 雅彦(東京医科歯科大学)、櫻井 英幸(筑波大学)

1. がんの放射線耐性機構の解明と放射線治療への展開~ HIF-1 活性のイメージング研究に基づく提言~
原田 浩(京都大学)、板坂 聡、澁谷景子、平岡真寛
2. 遺伝子解析による子宮頸癌の放射線感受性予測
播磨洋子(関西医大)、池田耕土、宇都宮啓太、米虫 敦、志賀淑子、澤田 敏
3. 硫酸糖脂質による血管新生阻害と放射線増感
三浦雅彦(東京医科歯科大学)、太田慶祐、石間正浩、森陽子、菅原二三男、坂口謙吾
4. 放射線治療とがんの転移 -がん細胞の転移能に対するX線・炭素線照射の影響
松浦成昭(大阪大学)、手島昭樹、高橋 豊、水野裕一、尾方俊至、秋野祐一、佐藤克俊、稲岡美穂、富田恒幸、古澤佳也
5. ヌクレオシド誘導体による放射線増感
稲波 修(北海道大学)
6. メディシナル・プリコラーージュ:ハイポキシアを標的とした制がん剤の分子設計
堀 均(徳島大学)、宇都義浩、中田栄司
7. テロメラーゼ特異的腫瘍融解アデノウイルスによる放射線感受性増強とその分子機構の解析
藤原俊義(岡山大学)
8. (指定発言)基礎放射線研究の立ち位置:放射線治療を支える生物学
岩川真由美(放射線医学総合研究所)、今井高志

16: 50-17: 00

閉会の挨拶

市民公開講座

「放射線を知り、放射線で診て、治す - 富山の最新放射線がん治療 -」(第2会場)

- | | |
|---------------|---|
| 13: 00-13: 10 | 開会の挨拶
飯田博行(富山県立中央病院長) |
| 13: 10-13: 50 | 座長 利波紀久(済生会富山病院長)
放射線でがんを診る - 先端 PET 医療 -
宮内 勉(とやま PET 画像診断センター長) |
| 13: 50-14: 30 | 座長 遠藤俊郎(富山大学附属病院長)
放射線でがんを治す - 脳神経外科での治療 -
西方 学(五福脳神経外科富山サイバーナイフセンター長) |
| 14:30-14: 40 | 休憩 |
| 14: 40-15: 20 | 座長 能登啓文(富山県立中央病院副院長)
放射線でがんを治す - 最新放射線治療 -
野村邦紀(富山県立中央病院放射線治療部長) |
| 15: 20-15: 40 | 座長 野田八嗣(富山県立中央病院副院長)
放射線を知る - 放射線の生物・生体作用 -
近藤 隆(富山大学大学院医学薬学研究部放射線基礎医学講座教授) |
| 15: 40-16: 10 | Q & A |
| 16: 10 | 閉会の挨拶
野村邦紀(富山県立中央病院放射線治療部長) |